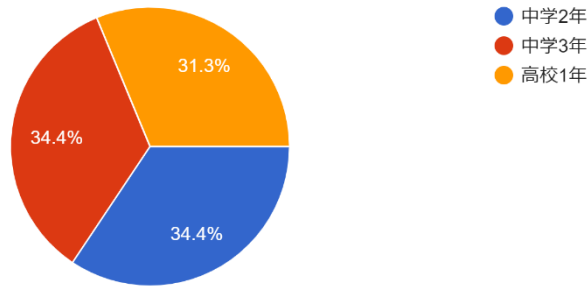


2023 年度海洋教育アンケート結果（保護者）

1. 学年別割合

- ・学年間の回答者数バランスは良かったが、回答者数がやや少なかった。

ご子息の学年
160 件の回答



2. 居住地別割合

ご自宅の地域
160 件の回答

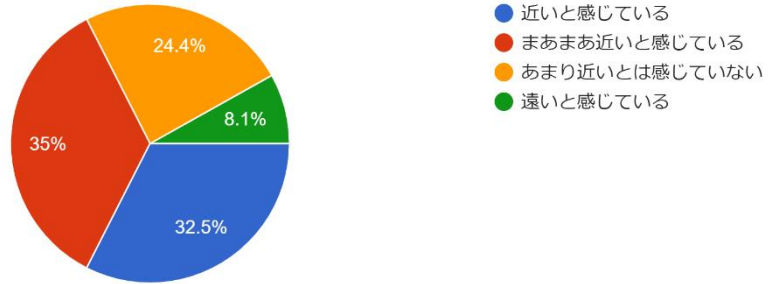


3. 海との距離感

- ・アンケート2の結果から県東部（横浜・川崎等）居住者が多く、東京湾、相模湾とも距離が近く、海を身近に感じている方が多いことがわかる。

ご自宅は海に近いと感じていらっしゃいますか。

160件の回答

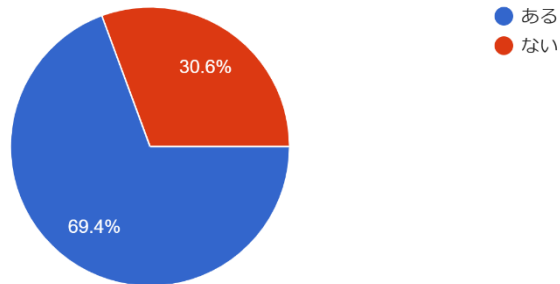


4. ヨット実習の見学

- ・回答者中6~7割がヨットや遠泳を見学したことがあり、ヨット実習への注目度が高いことがわかる。

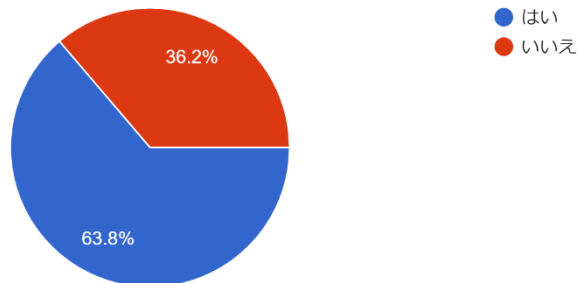
これまでに学校のOPヨット実習を見学されたことはありますか。

160件の回答



遠泳実習を見学されましたか。（高1の保護者のみ）

69件の回答

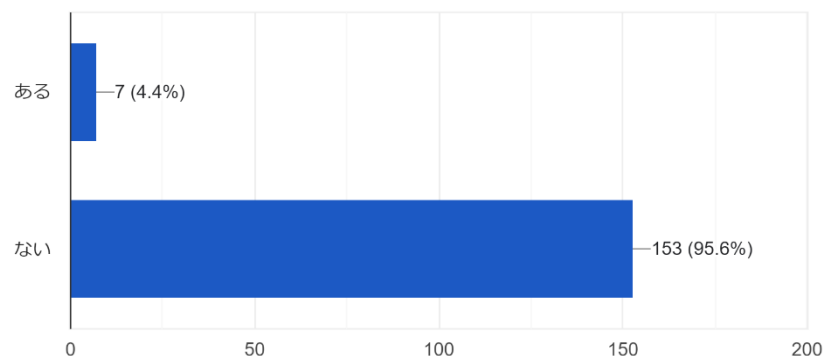


6. 保護者自身の海洋教育の経験

・9割の方が自身では海洋教育の経験がないことが表れている。

ご自身が学校で海洋教育を受けられたご経験はございますか。

160件の回答



7. 本校の海洋教育が、ご息子にどのような成長をもたらすとお考えですか。

・例年と同様、大別して次の4つのことについて回答されている方が多く見られました。

①自然との付き合い方について成長を促す。

<キーワード> 環境保護、環境問題、自然に対する畏敬の念、海との共生、海の豊かさと怖さ、命の大切さ など

②自立や協働を促す。

<キーワード> 秩序やチームワーク、自分との戦い、決断力（その場で考える力）、コミュニケーション など

③心身の成長を促す。

<キーワード> チャレンジ精神、危険予知、柔軟な思考力、健康、バーチャルでない世界を体感する、大らかな気持ち など

④視野を広げることができるようになる。

<キーワード> 海に関する知識、ものの見方、将来の進路の選択肢が広がる、想像力、創造力 など

以下、回答を何点か抜粋しました。

① 海は生命の始まり。未だ人間の目に触れることのないところも多い未知の世界で、好奇心を大いに育てることができ、また人の力の及ばない自然界にリアルに触れる機会が多いことは教育的に良い面があります。また人間が抗えない脅威となることもある点も身をもって知ることができる貴重な機会だと思っています。 中2 保護者

② 小さな努力の積み重ねが着実に力になり、やるべき時に大きな力になることが体感できる。苦手を克服した際の達成感を得られ、自己肯定感があがる。体力精神力の向上。同じ目標を持った仲間存在は自分の力になることを知れる機会。高1 保護者

③ 遠泳で苦しんでたので、達成感は大きかったと思います。何事も諦めないで粘り強く続ける事が全てに通じるものがあると、親子で実感できました。 高1 保護者

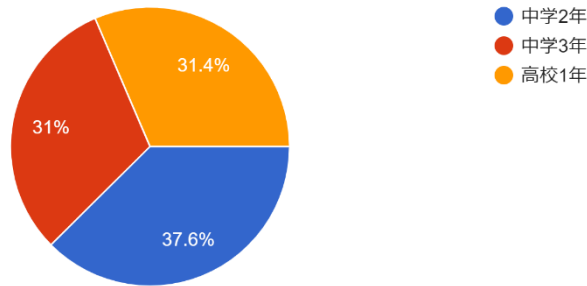
④ これからの人生にプラス α の知識を得ることで視野が広がり、さまざまな見方ができるようになってほしいです。中3 保護者

2023 年海洋アンケート（生徒）

1. 学年別回答内訳

- ・3 学年にわたりバランスの良いデータが収集できた。

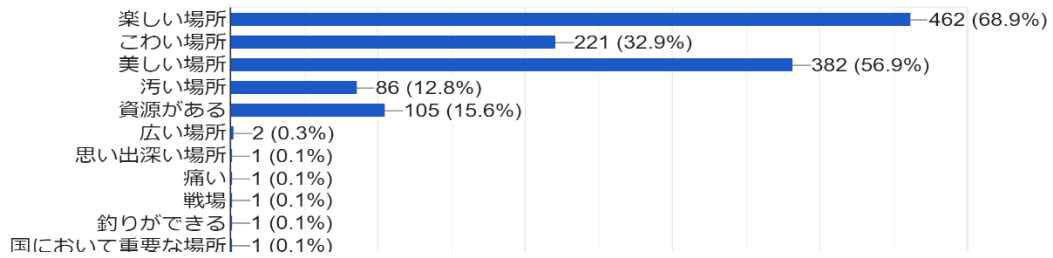
学年
671 件の回答



2. 海に対するイメージ

- ・大まかには「楽しい」、「美しい」といった肯定的な印象を持っている生徒が大半を占めている。他方「怖い」というイメージを持つ生徒も3割ほど存在している。

幼い頃からの今まで「海」という場所にどんなイメージを持っていますか。（複数回答可）
671 件の回答

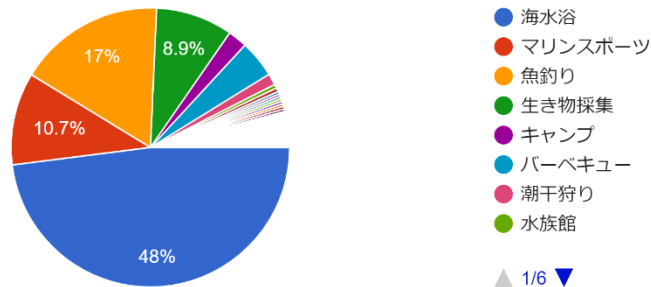


3. 海についての思い出

- ・例年と同じく海水浴が回答の半数を占めており、現在も最も一般的な海のアクティビティだと分かる。

学校外で、最も印象の残る海に関する思い出を1つあげてください。

671件の回答

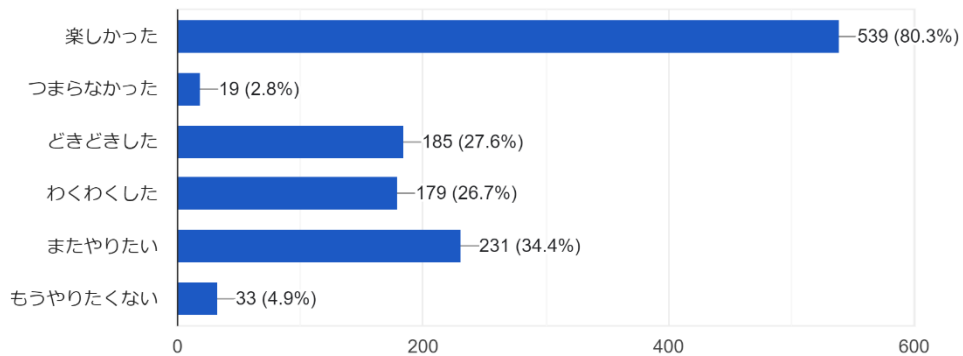


4. ヨット実習の感想

- ・肯定的な感想が8割を占めている。「ドキドキ」や「わくわく」といった未知の体験をしたときの感情も半数ほどの生徒が抱いており、初めての経験としては一定の成功を収めていると言える。

(中2, 中3, 高1) OPヨット実習の感想を次の中から選んでください。(複数回答可)

671件の回答

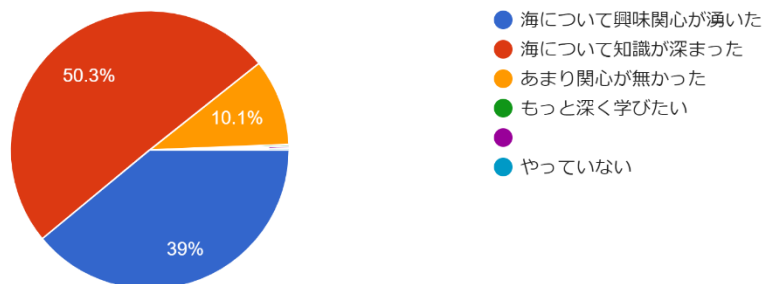


5. 海洋に関する学習の感想

- ・約9割の生徒で海洋に関する興味、関心が向上した。

(中3, 高1) 海洋に関する学習の感想を次の中から1つ選んでください。

477件の回答

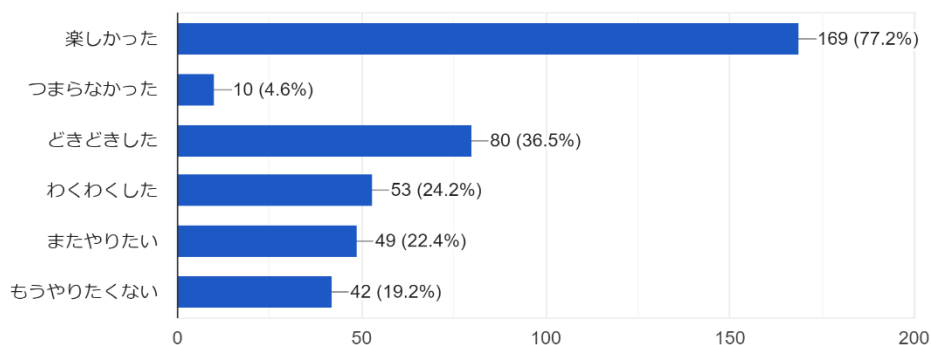


6. 遠泳についての感想

- ・約8割の生徒が肯定的な感想を持っており、「どきどきした」という感想に表されているように冒険心も刺激された行事であったことがわかる。

(高1のみ) 遠泳実習の感想を次の中から選んでください。(複数回答可)

219件の回答

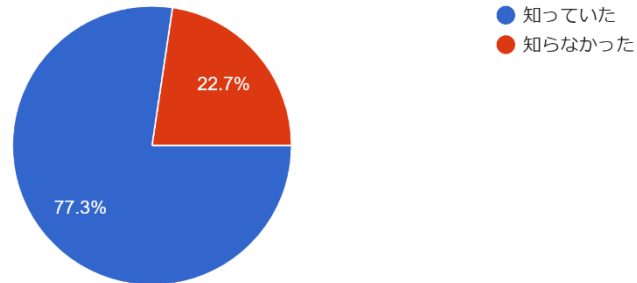


7. 海洋教育に対する入学以前の関心

- ・8割弱の生徒が入学以前より本校の海洋教育について知っていたことが表されている。

逗子開成には、海洋教育があることを中学入学前から知っていましたか。

671 件の回答

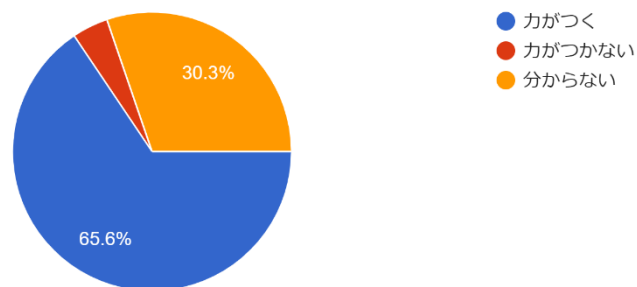


8. 海洋教育について学び実感

- ・ 7 割の生徒が自分にとってプラスの効果があったと感じている。

逗子開成の海についての学びから、自分には何か力がつくと思いますか。

671 件の回答



9. あなたにとって海はどのような存在ですか。

- ・ 「楽しい場所」、「美しい場所」といった肯定的な印象を持つ生徒が多いことと同時に「危険な場所」、「怖い場所」といった記述も見られた。本校の場合は物理的な距離も近く、海に携わる機会も多いので関心は少なくない。ポジティブな心象と「自然への畏怖」が共存する傾向が表れている。

海洋人間学×総合学習における水族館のディベート大会と企画発表会に参加して

国立極地研究所 国際極域・地球環境研究推進センター 特任研究員
丹羽淑博

逗子開成中学校の海洋人間学×総合学習は、中学1年生向けの活動「海に関する土曜講座を企画する」、中学2年生のディベート「日本の水族館・動物園を廃止すべきである是か非か」、中学3年生の「理想の水族館を企画する」で構成されています。3年間の取り組みを通じて、生徒たちが海への理解・関心を深めると同時に、テーマを設定する能力、情報を収集・整理・分析する能力、グループの意見をまとめる能力、プレゼン資料を制作し発表する能力、自己の意見を述べる能力、他者の意見を尊重する態度、などを育成することを目的としています。各学年の活動は次の学年への橋渡しとなっており、「海洋教育」と「探究活動」の要素を有機的かつシステムチックに結びつけたユニークな取り組みとして全国的に参考にされるべきものです。

私は2020年度に東京大学・海洋教育センターのスタッフ（当時）として中1の「海の土曜講座…」のプログラム作りに関わらせて頂きました。その関係でこれまで中1の活動を見てきましたが、2023年度は初めて水族館に関する中2のディベート大会と中3の企画発表会に参加する機会を得ました。

中2のディベート大会では、まず生徒たちだけで大会運営を担い、聴講する生徒たちもディベートを盛り上げ、生徒全員で大会をつくり上げている様子に感銘を受けました。水族館の可否に関するディベートの内容も、経済学、観光、地域振興、生物多様性（絶滅危惧種）、動物福祉等々さまざまな観点から意見が交わされており、「海洋教育」が単に海に関する教育にとどまらず、そこから派生して教科横断的にさまざまな分野の学びにつながることを示す非常によい取り組みになっていました。ディベートで発表する生徒たちが自分の言葉で自信をもって意見を述べる姿も強く印象に残りました。この様な姿は中1からの海洋人間学の活動で培った成果がまさに現れたものだと思います。

中3の「理想の水族館を企画する」の発表会では、数十件ものポスター・口頭発表がありました。全て発表において、これまでの課題、企画の新規性、コスト、収入、支出が示されており具体性がある提案になっているとともに、型を定めることで科学の研究発表の基本を学ぶよい機会になっていました。企画内容も、観光（体験やエンターテイメント）、工学（仮想体験）、SDGs（生物多様性、文化多様性、サステナビリティ）など多様な観点に着目したものとなっており、中2のディベートと同じく、海洋教育の広がりを示すものとなっていました。今後の課題としては、探究活動の基本を学ぶ場として発表形式にある程度の型を設けることの必要性を認めつつも、中学生らしい自由な発想を活かした型にはまらない発表を促す工夫があつてよいかもしれません（両者のバランスを取るのは大変難しいと思いますが）。また、理想の水族館の立地場所について、今回は自由に設定していましたが、地元の逗子にあえて限定させることによって、地元の海を深く学ぶ機会になるとともに、各発表がさらに具体的かつ個性が際立つものになるのではと思いました。

海洋人間学×総合学習の活動内容は毎年改良が重ねられており、今後のさらなる充実・発展に期待したい。さらに、中学校での海洋人間学を受けて、一部の生徒たちは逗子開成高等学校においても海の探究活動を続けており、その成果を学会で発表するだけでなく、全国の海洋教育の交流発表会においてディスカッションのコーディネーターを率先して務めており、海洋教育のリーダーとしてのさらなる活躍も期待したい。

最後に、このような貴重な取り組みに参加する機会を与えてくださった逗子開成中学校・高等学校の皆様方に厚く御礼を申し上げます。